

## インターバンクの声（2017年8月10日）

北朝鮮がグアム島周辺にミサイル攻撃を検討中と米国を威嚇し、対するトランプ米大統領も北朝鮮が米国を脅すなら世界が目にしたことのない火力で対抗するなど過激な発言で応じた。

この北朝鮮をめぐる緊張の高まりから円買いが強まり、東京市場の夕方には109円60銭台、ニューヨーク市場の朝方には109円50銭台まで円買い・ドル売りが進んだ。その後は予想を上回った米経済指標の発表やリスク回避姿勢が緩んだため多少円が売り戻されている。

ただ、昨夜は米長期金利が上昇に転じたわけでもなく、米株価も下げていたこともあって、さらに円買い・ドル売りが進んでも不思議ではなかった。

市場参加者の多くが、109円50銭付近を下抜けてしまうと、6月中旬に付けた108円84銭まで一気に攻めてしまうリスクを承知しており、もう一段のドル売りに慎重になったのだろう。

明日は日本市場が祝日のため休場で、来週は日本の事業法人の多くが夏季休暇となる。輸入勢が109円前後でオーダーを置いてくるようだと意外にドルも底堅いかも知れない。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。